

「ユニバーサルデザイン」の4つの視点について

1 環境の工夫

教室には様々な学習道具や掲示物等があります。そのため、教師が教室環境を整えたり、学習に関するルールを決めたりすることが大切です。それにより、児童生徒は落ち着いて生活ができ、また、集中して学習に取り組むことができるようになると思います。これらに配慮した支援例を紹介します。

支 援 例

【小学校】 既習事項を教室の横に掲示する



児童が思考する際の手掛かりになるように、これまでに学習した内容や方法を掲示する。

【小学校】 話し合いをするときのルールを決める



司会の進行に沿って話し合うことができるように、進行の仕方を書いた「話し合いの手引き」を準備する。

【中学校】 発表をするときのルールを決める



個人で考える活動の際に、集中して考えることができるように、質問するときは静かに挙手をするというルールを決める。

【中学校】 教室前面の掲示物をカーテンで隠す



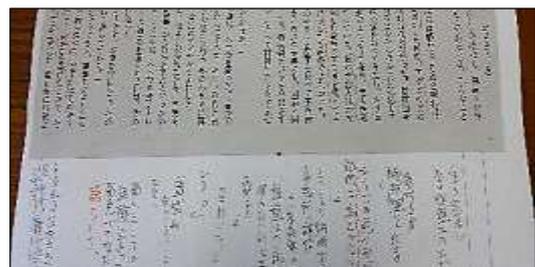
生徒が黒板に集中することができるように、黒板周辺の掲示物を少なくする。また、授業中に必要のない掲示物をカーテンで隠し、視覚情報を少なくする。

【高等学校】 学習用具の準備の仕方を決める



生徒が自主的に次の授業の準備ができるように、授業が始まる前に、次の授業の準備をさせる。

【高等学校】 ノートの使い方のルールを決める



板書を書き写したり学習のポイントに気付いたりすることができるように、ノートの使い方のルールを決める。

<p>教室環境を整える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板の上の壁面には、必要な物だけを掲示する。 ・黒板の両サイドの壁面には、時間割等、年間を通して必要な物だけを掲示する。 ・掲示物は教室の後ろや横に貼る。 ・掲示物や掲示物を貼る台紙等は淡い色調を用いる。 ・黒板はきれいに拭き、余分な掲示物やマグネット等がないようにする。 ・授業時間は、教室前面の掲示板やロッカーをカーテンで隠す。 ・教卓や教師用机の上には、必要な物だけを置く。 ・椅子の脚にテニスボール等を付ける。 ・時間割は、教科別に色分けしたり授業内容を想起させるイラストやシンボルを添付したりする。 ・学習道具の準備の仕方を絵や写真等で視覚的に示す。 ・机の中の整理の仕方を絵や写真等で視覚的に示す。 ・引き出しに入れる物、ロッカーに入れる物を決める。 ・ロッカーに入れる学習道具を整理するための箱を準備する。 ・掃除用具入れ等、皆で使う場所の整理整頓の仕方を、絵や写真等で視覚的に示す。 ・提出物用の箱を準備する。 ・教科ごとに色を決めて、掲示する時間割表やファイルの色と合わせる。 ・ワークシートを綴るファイルを準備する。 ・教室の前で発表するときに、マーカーや三角コーン等で立つ位置を示す。
<p>学習に関するルールを決める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業が始まる前に、次の授業の準備をさせる。 ・授業中に机に出しておかなければならない学習道具等を決める。 ・授業がスムーズにスタートできるように、次の授業の準備を休み時間のうちにさせておく。 ・授業中の姿勢を絵や写真等で視覚的に示し、継続的に指導する。 ・発表するときやグループで話し合うとき等の声の大きさを指導する。 ・発表するときは、丁寧な言葉遣いをするように指導する。 ・発表の際の話型を決める。 ・発表の際の手の挙げ方のルールを決める。 ・発表を聞くときのルールを決めて、継続的に指導する。 ・教室では肯定的な表現で発言するように指導する。 ・ワークシート等はファイルに綴るように言葉掛けをする。

その他の支援例

このような支援も取り入れています



体育で使う道具等は決められた場所に保管する。



場に応じた声の大きさが分かるように、視覚的に示して、掲示する。



話を聞くときの姿勢を視覚的に示して、掲示する。



提出物についての連絡事項は、背面黒板のホワイトボードに、まとめて掲示する。